

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育内容（言葉）				
担当者氏名	芝田 圭一郎				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門基礎-4 発達の深い理解 ◎ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達をふまえ、保育における乳幼児の言葉によるコミュニケーション、絵本などの文化財とのかかわり等の具体的な言葉にかかわる保育内容の指導法を実践的に理解する。具体的には、人間の証といえる「言葉」の意義と機能について理解した上で、乳幼児の言葉を育て、言葉に対する豊かにする教材や実践に関する知識を身につける。

《授業の到達目標》

- ①保育内容「言葉」の援助と指導の実践力を身につける
- ②言葉のもつ意義と機能を理解し、乳幼児期の言葉の発達過程について説明できる
- ③言葉に対する感覚を豊かにする実践を通して、感性を養う
- ④児童文化財について基礎的知識を深め、発達における児童文化財の意義を理解する

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・提出物・講義内での発言等） 30%
 講義内で実施するレポート 30%
 期末定期試験 40%

《テキスト》

授業中に適宜資料を配付する。

《参考図書》

厚生労働省編「保育所保育指針解説」
 文部科学省編「幼稚園教育要領解説」
 内閣府・文部科学省・厚生労働省編「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

《授業時間外学習》

講義内で課す課題について再度、深く考察すること。また講義内で取り上げる児童文化材に関して教材研究を行うこと。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	保育内容「言葉」とは	各法令における領域「言葉」について
2	乳幼児期における言葉の発達①	人間にとっての言葉の意義と機能について
3	乳幼児期における言葉の発達②	乳幼児期における子どもの言葉の獲得について
4	乳幼児期における言葉の発達③	発達過程における言葉の位置づけについて
5	言葉に対する感覚を豊かにする実践について①	言葉の美しさ・楽しさを伝える方法技術
6	言葉に対する感覚を豊かにする実践について②	乳幼児期における各種、言葉遊びについて
7	言葉に対する感覚を豊かにする実践について③	言葉遊びの保育実践への取り入れ方について
8	幼児教育の現代的課題と領域「言葉」①	幼児における言葉の伝え合いについて
9	幼児教育の現代的課題と領域「言葉」②	幼児期の終わりにまでに育ててほしい10の姿「言葉」の領域について
10	児童文化財の実際について①	児童文化財の意義とその歴史について
11	児童文化財の実際について②	児童文化財の種類とその内容について
12	児童文化財の実際について③	児童文化財を保育実践への取り入れ方について
13	創作児童文化財の製作発表①	絵本とその実践について
14	創作児童文化財の製作発表②	紙芝居とその実践について
15	創作児童文化財の製作発表③	素話とその実践について